

「地震に対する10の備え」

家具類の転倒・落下防止をしておこう

- 家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒や落下防止措置をしておく。
- けがの防止や避難に支障のないように家具を配置しておく。

けがの防止対策をしておこう

- 避難に備えてスリッパやスニーカーなどを準備しておく。
- 停電に備えて懐中電灯をすぐに使える場所に置いておく。
- 食器棚や窓ガラスなどには、ガラス飛散防止措置をしておく。

家屋や塀の強度を確認しておこう

- 家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。
- ブロックやコンクリートなどの塀は、倒れないように補強しておく。

消火の備えをしておこう

- 小さな揺れの時には、火の始末をする習慣をつけておく。
- 火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水のくみ置きをしておく。

火災発生の防止対策をしておこう

- 普段使用しない電気器具は、差込プラグをコンセントから抜いておく。
- 電気やガスに起因する火災発生防止のため感震ブレーカー、感震コンセントなどの防災機器を設置しておく。

非常用品を備えておこう

- 非常用品は、置く場所を決めて準備しておく。
- 車載ジャッキやカーラジオなど、身の周りにあるものの活用を考えておく。

家族で話し合っておこう

- 地震が発生した時の出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく。
- 家族が離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所などを決めておく。
- 家族で避難場所や避難経路を確認しておく。
- 普段の付き合いを大切にするなど、隣近所との協力体制を話し合っておく。

防災環境を把握しておこう

- 地域の防災マップに加えて、わが家の防災マップを作っておく。
- 自分の住む地域の地域危険度を確認しておく。

過去の地震の教訓を学んでおこう

- 消防署などが実施する講演会や座談会に参加し、過去の地震の教訓を学んでおく。
- 新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから防災の知識を身につけておく。

知識・技術を身につけておこう

- 日頃から防災訓練に参加して、身体防護、出火防止、初期消火、救出、応急救護、通報連絡、避難要領などを身につけておく。